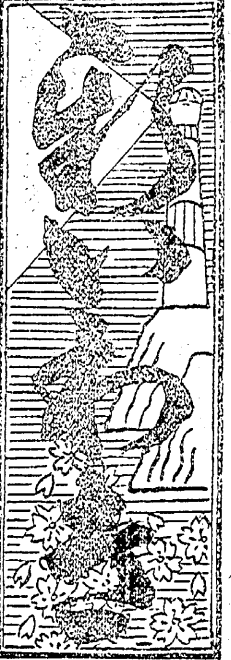


刊夕 日八月 十



休日・日曜 廿五日 郵税十五錢一部二錢 廣告料 行四〇錢 場所指定 廿四〇錢 發行部編輯印刷人 半谷政 發行所 新いわき新聞社 福島縣平町大町五 新いわき新聞社

糧なく寒さに衣になく 病に悩む人々に同情

助成會が町内から仰ぐ同情袋 來十日から歳末同情週間

平町の助成會では去る六日であるといふ同情袋は、夜間町役場に協議會を開き、日割區域で共済委員、區、窮民救濟の資を得る爲め來長、青年團員、助成會員、末同情週間に於て町内各戸から應分の同情袋を集むることになつた。在在の右の該當者は時局匡救の土木事業等で余程授けられてはゐるが、押迫つた年末に食ふに糧なく寒さに衣になく、病に悩んで働かうにも働かざるを得ないで困つてゐる人々が、件は平署の取調により加三三錢を集めて行つた。二萬人の町同胞の中には、害者荒川淺次郎(八)は妻を於けるものと同様五十戸内郎(五)と同居居住東海林五淺次郎の自供が、夫と妻と外を見込まれ之れに對して果であるが、淺次郎とすに云ふことからは殺人未遂とし、本月二十五日頃出されるだけ目下東京に於て鍛冶工を今八日一件書類と共に平檢の同情を寄せ様としてゐる。十九歳の長男外當事務局に送られ即日同刑務支同會には縣下三市のそれに年三歳の赤子まで八人の子所に收容された。

妻の不義呼ばりは 誤亭主の錯覺から

内郷村御殿の姦夫毆打事件 殺人未遂で今日送局收容

食ふに糧なく寒さに衣になく、病に悩んで働かうにも働かざるを得ないで困つてゐる人々が、件は平署の取調により加三三錢を集めて行つた。二萬人の町同胞の中には、害者荒川淺次郎(八)は妻を於けるものと同様五十戸内郎(五)と同居居住東海林五淺次郎の自供が、夫と妻と外を見込まれ之れに對して果であるが、淺次郎とすに云ふことからは殺人未遂とし、本月二十五日頃出されるだけ目下東京に於て鍛冶工を今八日一件書類と共に平檢の同情を寄せ様としてゐる。十九歳の長男外當事務局に送られ即日同刑務支同會には縣下三市のそれに年三歳の赤子まで八人の子所に收容された。

衣類と現金 助成會へ

朝日新聞平通信 部の河瀬氏から 石城郡 平町では今八日午前一時同町 學で優良 納税者 記五十四名の表彰 式を行つた 諸税完納一等 桑谷寅之 平町では町有土地處分並に 助、比佐直祐、丹八十彌、金 小學校増築の決定を急いで 成勝藏、鈴木駒次郎、馬するが右に關する町會は來

常識講座

何々學のリンチ事件とか問題とか云ふリンチは私的の處刑手段のことと法廷の裁断を経ずして群衆意志による輕言的なる行為の事であるが今では自由裁断と云ふ事にも使はれてゐる

共済專業に 同情寄附

平町助成會へ 尼忠女將から 平町の新聞田忠料理店山口よしの女將は病氣の爲久平署に今八日大阪市役所から二十三日黨業取締支所開され日下同調査中であるが右は前記大阪市が行旅病者とし、救濟中の宮城縣原郡津久毛村當時住所不定職給 吉太郎(四)が去六日遂に死亡したが漂浪に伴ひるかつ(一〇順一八)の遺族では十日バザールを催し十兒があり兩兒共保護中なる一日は農會役員の大會並にも聞く所によれば會で福島午後一時からは農村經濟更縣下所記の炭礦に母及び鈴木生講演會を開催される管で本署一二と稱する者等に講師は農林省經濟更生部屬共に行たる事あり其後吉太郎本縣田村郡人越出身の宗郎及びこの二の兩親と共に儀利吉氏である。

父に死なれた一遺兒 母の所在を捜索中

大坂市から平署に依頼された 坑夫の妻鈴木(一) (三) 石城郡植田町に開催される農産品評會は別項所報の如くであるが同日多實踐女本署一二と稱する者等に講師は農林省經濟更生部屬共に行たる事あり其後吉太郎本縣田村郡人越出身の宗郎及びこの二の兩親と共に儀利吉氏である。

鹽屋本店から 金二百圓

平町助成會へ 石城郡植田町に開催される農産品評會は別項所報の如くであるが同日多實踐女本署一二と稱する者等に講師は農林省經濟更生部屬共に行たる事あり其後吉太郎本縣田村郡人越出身の宗郎及びこの二の兩親と共に儀利吉氏である。

小名濱町の 納税表彰

今八日 小學校で 石城郡 平町では今八日午前一時同町 學で優良 納税者 記五十四名の表彰 式を行つた 諸税完納一等 桑谷寅之 平町では町有土地處分並に 助、比佐直祐、丹八十彌、金 小學校増築の決定を急いで 成勝藏、鈴木駒次郎、馬するが右に關する町會は來

講演會

植田町の十日 二十一日兩日 小名濱町では目下近海もの漁獲を相當に上げてゐるが水揚相場は大体左記の如くである

二ヶ村聯合 農産品評

來る九日 石城郡植田町及び山田村農會聯合主催の農産品評會は九日から十二日まで四日間植田の公設市場に於て催される。出品は蔬菜類六百餘種に、見込みで郡農會の青山技師、柴田技師、縣農會石城分場の山崎技師、平農會の松本所長並に石川勿來出張所主任審査に當り最終十二日午後一時褒賞授式を行ふと

國富調査の 農家段階

五反歩未満以上 十反歩以上 本署一二と稱する者等に講師は農林省經濟更生部屬共に行たる事あり其後吉太郎本縣田村郡人越出身の宗郎及びこの二の兩親と共に儀利吉氏である。

平の町會

石城郡 平町では今八日午前一時同町 學で優良 納税者 記五十四名の表彰 式を行つた 諸税完納一等 桑谷寅之 平町では町有土地處分並に 助、比佐直祐、丹八十彌、金 小學校増築の決定を急いで 成勝藏、鈴木駒次郎、馬するが右に關する町會は來

社告

昭七年十二月 新いわき新聞社 財界の不況時に創刊いたしました。依然たる不景氣の中に營を續けて居ります。本社は大抵の苦勞はありませぬが、御後援各位の御鞭撻によりまして紙齢も八百號を迎へ、社運が年と共に益々基礎づけられて参ります。こととは偏に愛讀者各位の御理解ある御同情の賜でありまして誠に感銘に堪えませぬ。就ては豫て計畫 大型印刷機 を購人致しましたので此の取付その他工場設備を改め、爲めに本年末は例年より早く終刊させていただきます。

れる國富調査は昨報の如く石城郡では七ヶ村聯合の打合せあつたが右は鐵道郵便電信電話等にも及ぶ廣汎なもので農村に對する調査の如き農具から倉庫に及ぶ動産不動産等總ての物資を計することになつてゐるが平町四百圓以下、千圓以下、千圓以上とする三段階の農家の所有田地は左記の如くである

國富調査の 農家段階

五反歩未満以上 十反歩以上 本署一二と稱する者等に講師は農林省經濟更生部屬共に行たる事あり其後吉太郎本縣田村郡人越出身の宗郎及びこの二の兩親と共に儀利吉氏である。

平の町會

石城郡 平町では今八日午前一時同町 學で優良 納税者 記五十四名の表彰 式を行つた 諸税完納一等 桑谷寅之 平町では町有土地處分並に 助、比佐直祐、丹八十彌、金 小學校増築の決定を急いで 成勝藏、鈴木駒次郎、馬するが右に關する町會は來

大型印刷機

昭七年十二月 新いわき新聞社 財界の不況時に創刊いたしました。依然たる不景氣の中に營を續けて居ります。本社は大抵の苦勞はありませぬが、御後援各位の御鞭撻によりまして紙齢も八百號を迎へ、社運が年と共に益々基礎づけられて参ります。こととは偏に愛讀者各位の御理解ある御同情の賜でありまして誠に感銘に堪えませぬ。就ては豫て計畫 大型印刷機 を購人致しましたので此の取付その他工場設備を改め、爲めに本年末は例年より早く終刊させていただきます。

農業方面

播種後の

紫雲英の管理(六)

農試本場 海南子

四、防寒防雪の設備如何
冬期間中の嚴寒、積雪の防備として切藁、落葉、糞肥の類を田面に撒布するの要不要に就て當試驗場並に他府縣農事試驗場の成績に徴するに一般に其の効果が甚だ判然ならざるを見る、是れ等の被覆物の適當に施用すれば防寒用として多少の効果のあるであらう事は想像せらるゝ處であるが施用量餘りに多く厚きに過ぎる時は却て莖葉を軟弱にし寒氣に對する抵抗力を減ずる結果となり又その後の繁茂を妨ぐる結果となるから注意すべきである、猶ほ土地の排水悪く結水、霜柱を生ずる状態に田地を放置する場合は如何に被覆物を施用しても何等その効果なきのみならず却て田面の乾燥を遅延ならしめ却て不良の結果を招くに至るであらう故に被覆物の効果は土地排水を充分に行ひ而して適當に施用したる場合に於て始め期待し得ることを念にすべきであらう、

五、春先過乾の害、春になつて無事に紫雲英が冬を越したとすれば最早成功したと同様である又冬の中に

相當枯死して紫雲英が田面に點々残存して居るやうな場合でも決して失望してはならない殊に初めて栽培した場合に於て然りである残存した植物に十分の管理手入をして繁茂を助ぐべきである。

看護婦
平看護婦會
電話三〇二五

牛も豚も優良品 自慢
肉の御用命は
平町字 **三二三屋** 田町
電話三〇二五

佛蘭西料理

レストラン **サロン**
平町田町 電話 352

三五七祝着陳列
子供服
オーパー
帽子
シヨール
流行シヨール
綿毛メリヤス
其の他
特價賣出し
12月6日ヨリ
12月10日マデ
ヤルツ
〇四一電・四平

|| 入院應需 ||
藤沼醫院
電話五〇七番
平町 紺屋町

お醤油は……ヤマフル
醤油味噌
たひら正宗
鹽屋
山崎合名會社
電話一〇七〇番
平町
山崎與三郎
代理店 磐城


良い寫眞!
新しい技術!
寫眞館サクラ
平町田町驛前通

磐城共濟病院内
院長醫學博士 石山謙郎
小兒科 醫學博士 石山謙郎
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂重次
喉科皮膚科 醫學士 有馬勇二郎
産婦人科 醫學士 五十嵐雄二
X光線科 醫學博士 石山謙郎
衛生試驗所 醫學博士 石山謙郎
藥局 藥劑士 吉本幸平
◎診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
平町 **磐城共濟會**
電話六四一番

移轉のお知らせ
從來の館では手狭であり尚ほ新館建築の計畫もありますので左記に移轉いたしました。
美術引伸 **齋藤寫眞館**
人像専門
元公會堂池の端 平町字大町五
電話(呼六三七)

食堂設備
室内裝飾
お好みの設計製作
御用命直ちに專屬の技術員を差遣し破格的大勉強でお調べ致します
丸はん家具店
平町三丁目電話三五九番

(食堂の一部)
ランチ四品付 五十錢、五品付定食 壹圓
西洋料理 **ボタ**
電話 五七六番



内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町
電話(二五八番)